

平成31年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

事業計画書

1 調査研究・政策立案支援事業（定款第4条第1項第1号関係）

（1）研究プロジェクト

区の課題や問題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行う。

また、区の各部署が抱える課題の解決や戦略的な政策形成に資する助言・提言等を行う。

平成31年度は、2つの研究プロジェクトに取り組む。

一定の成果が出たものについては、区の担当部署に報告し、施策の遂行に資する。

○「荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究プロジェクト」

○「児童相談所の開設を契機とした研究プロジェクト」

（2）住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）における研究

基礎自治体間の連携を図る「幸せリーグ」の事務局として、区と共同で運営にあたる。

総会における首長の情報交換の促進を図るとともに、実務者会議における各自治体の実務担当者による個別のテーマに基づく調査研究を行う。

2 人材育成事業（定款第4条第1項第2号関係）

（1）区職員の政策形成力等の向上

区から派遣された研究所研究員や研究会及びワーキング・グループに参加する区職員が研究所固有の研究員とともに調査研究を行うことにより、理論的・実践的な思考に基づく調査研究のノウハウ、政策形成力の向上等を図る。

また、研修や研究報告会等を主催し、それらを通じて調査研究や政策形成に係る知識・能力の向上を図る。

（2）幅広い参加機会の確保による区職員の能力向上等

荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）との連携講座の実施など、区職員の幅広い参加の機会を設け、区職員の問題意識の醸成や能力の向上等を図る。

（3）幸せリーグにおける職員の人材育成

幸福実感向上を目指す自治体相互の職員が助け合い、学びあいなど切磋琢磨をする機会とした幸せリーグの実務者グループ会議等を通じて、区の職員をはじめとした、参加自治体職員の連携の強化と能力の向上を図る。

3 情報収集・情報発信・交流事業（定款第4条第1項第3号関係）

（1）全国の自治体シンクタンクとの交流

荒川区民総幸福度（GAH）や幸せリーグ等の取り組みを全国の自治体に広めるとともに、他の自治体シンクタンクの研究等について報告書の相互交換等を通じて、シンクタンク同士のネットワークを形成し、研究成果の共有につなげていく。

（2）調査研究成果等の周知

研究プロジェクトの調査研究成果やGAHアンケート調査の分析結果について、区はもとより国、都、全国の自治体等に幅広く周知するとともに、報告会の開催等の機会を通じて周知を図る。

（3）「荒川区民総幸福度（GAH）推進リーダー会議」の運営

各分野のリーダーである区民により構成される「荒川区民総幸福度（GAH）推進リーダー会議」を通じて、GAHに関する意見交換やPR等を行うことにより、区全体のGAHの向上に取り組む。

（4）広報紙の発行

研究所の活動や研究成果、政策提言を全国の自治体、大学、研究機関などに広く公表・発信し、学術記事等を通じて多方面の研究者と活発な研究交流を行うため、ニュースレター「RILAC NEWS」を発行する。

（5）ホームページによる情報の発信

研究所のホームページの充実を図り、研究所の概要、調査研究活動、研究報告などの成果を、インターネットを通じて幅広く区内外に発信する。

・ ホームページアドレス <http://rilac.or.jp/>